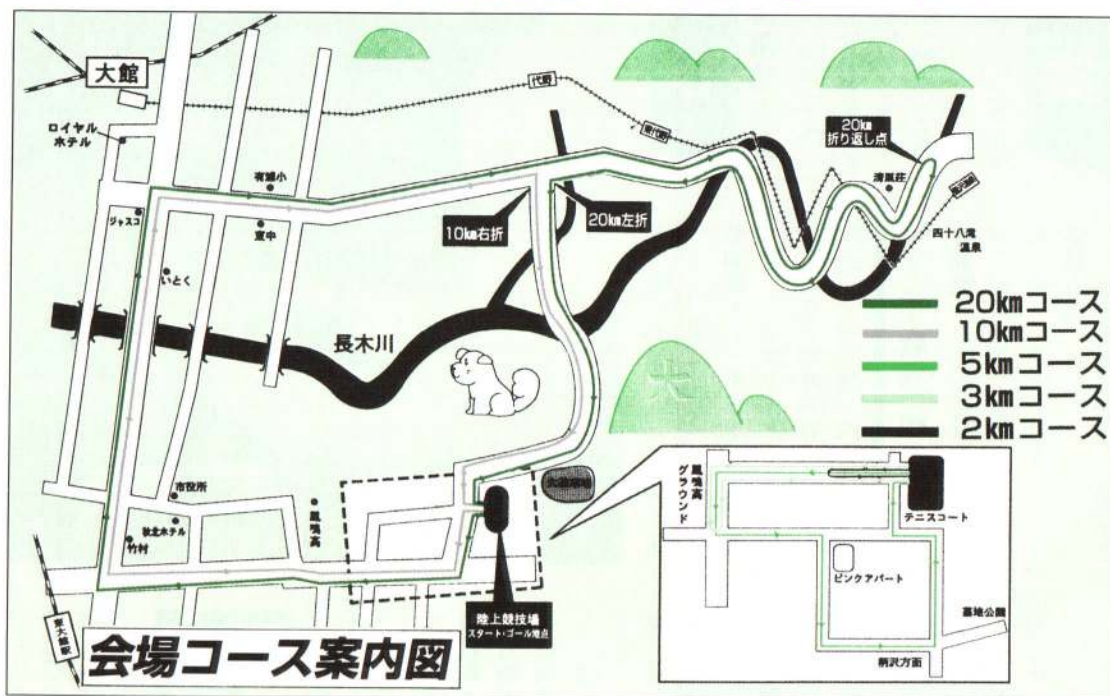


一疾走するランナーへご声援を一

第44回山田記念ロードレース大会

4月29日10時スタート!

四月二十九日(みどりの日)に山田記念ロードレース大会が開催されます。
 今大会も、ポストンマラソン優勝者の山田敬蔵選手をはじめ県内外から約千二百人以上が参加する



予定です。
 (出発時刻)

20km (高校女子・一般女子A・同)	10時10分	20km (一般男子)	11時35分
5km (中学校男子)	10時35分	10km (男子年齢別・一般女子C)	11時30分
3km (小学校男子・中学校女子)	10時	10km (高校男子)	11時10分
2km (小学校女子)	10時	5km (中学校男子)	10時35分
		B・ジョギング	10時30分

コースは、長根山陸上競技場を発着点とする日本陸上競技連盟公認コース(上図参照)。
 なお、今大会から5kmのコースが変更されますので、周辺のかたのご理解をお願いします。
 当日は各コースの要所に応援用の小旗を用意しますので、選手の皆さんへ温かいご声援をお送りください。
 ※競技開催中、コース内では交通規制が敷かれますのでご協力をお願いします。
 市民体育館内
 大会事務局
 ☎42-10310



市長リポート

No. 111



拡大する市勢にも勝る
 市民サービスの実現を

平成八年度の大館市の一般会計当初予算が、約二百五十一億円という大規模なものになりました。これは、数々の大型プロジェクトをこなすための予算であるといえ、私は、この数字は既に一時的なものではなく、なっていると、思っています。

例えば、私が市長になって初めて編成した予算は、一般会計で約百八十八億円でした。それが、各種プロジェクトが毎年切れ目なく進行することによって市全体の事務量が増大し、現在の予算規模が恒常化しているのです。実質的に、市の行政規模は当時と比較して五割ほど拡大しているといえます。つまり、大館市はこれほどの予算を必要とする、活気ある街へと変貌を遂げたということなのです。

このように市勢の伸長著しい中、四月一日付で市職員の人事異動を行いました。適材適所主義を基本としながらも、それぞれの職員が様々なポストを経験し、市民への、そして市政全般への理解をより深めていただくために、積極的かつ大胆な人員配置を行ったつもりです。

もちろん、ポストが変わるといことは、新たな事務について学ばなければならなかったり、就労環境の変化に対応しなければならなかったりと、職員にとっては大変な負担になります。まして、事務量が大幅に増大しているにもかかわらず、従来と変わらない職員数で事務処理を行わなければならないのですから、今までの以上の努力が要求されることは想像にかたくないでしょう。

しかし市役所は今、張り切っています。拡大する市勢にも勝る市民サービスを実現するため、全職員一丸となって頑張っています。皆さんのご理解をよろしくお願いします。

小畑 元